
バカ息子（娘）に暴力を振るわれるお母さんへ～逃げてください！あなたのせいではない！～

川上彩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカ息子（娘）に暴力を振るわれるお母さんへく逃げてください
！あなたのせいではない！！く

【Nコード】

N9575S

【作者名】

川上彩

【あらすじ】

題名そのままの内容です。暴力をふるう子供は捨てていいんです！お父さん、お母さん！逃げてください！自分の人生を取り戻してください！

私は空想や芸術が本筋の人間です。

人間には一人ひとり、違う世界があり、違う事情があります。

なので、そこその掲示板のような、他人の人生にケチをつけるだけの「論評まがい」なことは嫌いです。

しかし、この件に関しては他人事ではなく、納得できないひどい現状を見るにつけ、よけいな事であろうとはっきり言っておかなければいけないと思い、ここに書くことにしました。

暴力をふるう親がクズであるのと同様、暴力をふるう子もクズなのです。

お父さん、お母さん。

20歳を過ぎた大人に生活費を出したり、手とり足とり世話をし
てやる義務など、もうあなたがたにはありません。

成人した子供は、放り出してでも自立させるのが親の仕事です。

同居している息子や娘から暴力、暴言を浴びせられているお父さん、お母さん。

お願いです。逃げてください。これ以上傷つけられないうちに。

残りの寿命が何年あるか考えてください。今60歳なら、あとせいぜい10年か20年しか生きられません。子供の人生なんて本人が考えればいいことです。

自分の人生を考えてください。死に際に後悔することがないように。

子供を追い出そうとしても無理なら、ご自分が、家を出てください。

できれば、事前に警察、福祉機関などに連絡しておくといいでしょう。

せっかく苦勞して建てた家、長年住んだ家を出るのは苦痛でしょうが、このまま一緒にいては、残りの人生をすべて奪われてしまいます。

ご自分の人生を、生き直してください。お願いします。

行き先をバカ息子（娘）に教えてはいけません、電話もしてはいけません。

一切連絡を断ってください。

泣きつかれても絶対戻ってはいけません。ここで戻ってしまうと、相手は「どうせ泣きつけば戻ってくるんだろ」と図に乗ってますます暴力的になります。

「もう一緒には暮らさないと断固決めた！」そういう気持ちになってください。

家庭裁判所も大いに利用してください。

暴力は犯罪です。家族だろうと関係ありません。

容赦なく被害届を出し、警察に相談もし、あらゆることを利用してください。

あなたに足りないのは、おそらく厳しさです。母子家庭ならなおさらそうでしょう。

自分がふるった暴力・暴言、その他行動には、社会的責任がつきまとうということを、身をもって教えてやるべきなのです。

まあ、20もすぎてそんなこともわからない時点で、人間として

どうかと思いますが。

「おまえの育て方が悪い」なんていう発言を真に受けなくてください。

どんなに劣悪な環境に育っても、良い子は良く育ち、ひねくれ野郎はひねくれて育つのです。

秋葉原の通り魔事件の犯人なんか典型です。

まわりがいかに慰めてやろうとも、どんな言葉をかけられようとも、マイナスにしか取れない。

あんな人間は、たとえ聖人に育てられたとしても、同じ事件を起こしたに違いないのです。

実際、子供のころにがまんのかかない気質の子は、大人になっても短気で、がまんができないということが、海外の研究で立証されています。だいぶ前の話ですが。

親の年金を搾取して、暴力をふるって生きている人間の罪は重いのです。

主に、次の点で、彼らは取り返しのつかない犯罪行為を犯しています。

1. 親という名の他人の金を奪って暮らしている。他人が働いて蓄えた金（年金だって、労働者が働いて収めたものです）を搾取しているのである。つまり、彼らは労働者を搾取して暮らしている。
2. 暴力・暴言で他人（主に親兄弟、近所の人）を恐怖に陥れ、萎縮させ、そのことで他人の人生を大きく傷つけ、奪っている。
3. 自分が働かないことで、日本の労働市場を海外（中国、韓国、東南アジア）に売り渡している。
4. それなのに、中国や韓国を異様にネットで差別している（負

け惜しみとしか思えない)

こんな人間に、わざわざ生活費を渡す必要はありません。
心配してやる必要すらありません。

でも、親心としては心配でしょう。

でも、今あなたがすべき心配は「私がいなくてもやっていけるのだろうか」という心配ではありません。

「両親が死んだあと、ちゃんと自力で暮らしていけるのか？」

本当に心配すべきなのは、ここです。

まともな大人なら、親に頼ろうとは普通思わないのです。

たとえ、生活保護や障害者支援を受けようと、親からは自立するのがあたりまえなのです。

親はいずれ先に死ぬんですから。

精神障害や、重い薬の副作用で、それこそ、手足の曲がったような人たちが、一般就労、福祉就労、その他作業所などで、ちゃんと働いて、自立への道を歩いているのをわたしは見てきました。

かなり重い障害のある人でさえ、ちゃんとやっていけているのです。もちろんサポートを受けながらですが。

人間として、それが当たり前の姿なのです。

子供を自活させるためにも、ご自分の人生を守るためにも。
全国のお父さんお母さん、逃げてください。お願いします。

本当なら、子供を自活させてから、あなたたちの第二の人生が始まるはずだったのではありませんか？

新たに事業を起こす、趣味を満喫する、どこかへ旅行する、移住する……。

他人に、人生を奪われる理由なんてありません。

他人の人生を奪ってもいい人間なんていません。たとえ親子でもそれは変わりません。

人間らしく生きるためにも、暴力暴言をくりかえすようなダメ息子（娘）からは、一刻も早く離れてください。

ここから下は個人的な話になりますが、私の身内にも、親に暴力をふるって、平然と、

「男ならこれが当たり前だ！」

などという勘違い発言をしているクズがいます。

男友達にこのことを話したら、一笑にふされました。

「よっぽど自分に自信のない奴なんだな」

そして、『たとえ身内でも、そんなバカには関わらないほうがいい』と助言されました。

早く追い出すなり見捨てるなりして、子離れしなさいと私はその親に言っているのですが、どうも躊躇しているようです。

私は、暴行でこいつを訴えることを視野に入れています。

それくらい、やっていることが卑劣だからです。

こいつが韓国を嫌っているせいで、その母親は韓国ドラマすら自由に見れません。

私が会った時も、家に監禁されているのではないかと疑うくらい、おびえていたので、見かねて、

「出て行きなさい。遠くに行きなさい。30の男はほっときゃ勝手に生きていくでしょうが！」

と言ったのですが……。

暴力、監禁、こういうことを親に平気でできるなんて異常です。

しかも、そいつの生活費は、その親が出しているのです。

雇用問題が今、かなり若者に厳しいことは、私自身経験で知っています。

しかし、最初から「親の年金で暮らせるんだから俺は働かない！」と宣言して、しかも暴力をふるっているような奴は、どうてい許しがたいのです。

念のために書きますが、一生懸命就職活動しても仕事が見つからず、家族の家事を手伝いながら暮らしている地道な人は、私はむしろ偉いと思います。可哀そうだと思います。

いずれ親が亡くなった時、生活保護とか、就労支援社会的な援助が必要だと思います。

しかし、最初から「こいつの金を奪っちゃえ、ケケケ」という態度の人間は、許しがたいと言っているのです。

そんなのは男ではない、女でもない、人間ですらありません。

他人に取りついて生きるのは、もうやめませんか？

やむおえない事情で生活保護を受けていても、障害があっても、

一人で、親に頼らずに生きようとしている人が、私は好きです。ビッグイシューを売っているホームレスも、できれば助けてあげたいと思います。

しかし、どんなにかっこよくても、頭が良くても、他人をあてにして生きようとする人間は大嫌いです。反吐が出ます。近づかないでくれ！とすら思います。

雇用不安があります。地震も起きました。世界は揺れています。でも、それが、暴力をふるっていい理由にはなりません。

「親の育て方が悪いから俺がこうなった」？だったらあなたがとつとと出て行って自活すればいい。

路上で育っても、まともな人はちゃんとともに育つてますよ？中学を出たら、そのあとは『自分で自分を育てる』んですよ。常識ですよ？

自分で自分を育てられないから、そんなひねくれた人になったんじゃないですか？

きついことを書きましたが、とにかく、自立する気のない、自分のない、人任せな、そういう人間が私は大嫌いです。

再び言います。

お父さん、お母さん、暴力をふるうバカ息子（娘）は捨てていいんですよ。

世間が何と言おうと、あなたが悪いんじゃないやありませんよ。早く、逃げてください。

一人の人間としての、人生と尊厳を、早く取り戻してください。

私はそれを心から願っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9575s/>

バカ息子（娘）に暴力を振るわれるお母さんへ～逃げてください！あなたのせ

2011年8月16日21時24分発行